

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 基礎はり学 基礎きゅう学

[授業科目]

鍼灸理論Ⅰ**2 学年**

[基本情報]

担当教員	前川 秀朗		単位数	3	時間数	60
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員資格を有する。					
開講学期	前 期	後 期	授業形態	講 義	---	

[授業目標]

はじめに、鍼と灸について、それらの用具、術式などを理解する。次に、鍼灸刺激に関係する感覚や、鍼灸臨床で遭遇することが多い「痛み」について、それらのしくみを学ぶ。そして鍼灸刺激によってみられることがある副作用と感染症についても理解する。3 年次に学ぶ「鍼灸理論Ⅱ」とをあわせて、鍼灸臨床に必要な知識とはり師きゅう師に必要な知識を修得することを目標とする。

[評価方法]

☒定期試験 ☐実技試験 ☐実習評価 ☐小テスト ☐レポート ☐その他(中間試験)

[教科書]

[参考書]

プリント資料、教科書「はりきゅう理論」

特になし

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	基礎① 古代九鍼、毫鍼	16回	前期単位認定試験 解答・解説	試験/講義
2回	基礎② 刺鍼の方式と鍼尖形状	17回	鍼刺激と反射の仕組み	講義
3回	基礎③ 刺鍼の術式	18回	鍼鎮痛の仕組み	講義
4回	基礎④ その他	19回	鍼鎮痛の種類	講義
5回	灸の材料と特徴	20回	鍼鎮痛の応用	講義
6回	灸術の種類	21回	リスク管理	講義
7回	体性感覚総論	22回	特殊鍼法(小児鍼などについて)	講義
8回	体性感覚触覚	23回	特殊鍼法(鍼通電などについて)	講義
9回	体性感覚痛覚	24回	特殊鍼法(耳鍼などについて)	講義
10回	体性感覚温度覚	25回	鍼灸施術の治療的作用・治効理論	講義
11回	その他の感覚	26回	関連学説	講義
12回	痛み総論	27回	ストレス反応	講義
13回	急性痛	28回	鍼灸医療事故訴訟	講義
14回	慢性痛の種類	29回	鍼灸医療事故訴訟と対策	講義
15回	慢性痛の仕組み	30回	後期単位認定試験 解答・解説	試験/講義

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 基礎はり学 基礎きゅう学

[授業科目]

経絡経穴各論**2 学年**

[基本情報]

担当教員	秋葉 裕子	単位数	1	時間数	40
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員資格を有する。				
開講学期	前 期	---	授業形態	講 義	---

[授業目標]

主な経穴の穴性(性質)と、主な経穴に関わる筋・神経を学習し理解する。

[評価方法]

出欠席、小テスト、単位認定試験にて評価する。

小テストは計 2 回実施し、評価全体の 20%とする。

[教科書]

「東洋医学概論」、「経絡経穴概論」

[参考書]

授業のなかで、その都度紹介する。

[履修の条件・留意点]

授業時にプリントを配布するため、欠席時は次回授業時に担当講師から受領すること。

授業計画 :回数/講義内容

1回	ガイダンス・穴性の位置づけ	11回	西医的穴性 [手太陰肺経・手陽明大腸経]
2回	治法とその活用法	12回	西医的穴性 [足陽明胃経・足太陰脾経]
3回	東医的穴性[気血津液弁証]	13回	西医的穴性 [手少陰心経・手太陽小腸経]
4回	東医的穴性[気血津液弁証]	14回	西医的穴性 [足太陽膀胱経・足少陰腎経]
5回	東医的穴性[臓腑弁証 (肝・胆)]	15回	西医的穴性 [手厥陰心包経・手少陽三焦経]
6回	東医的穴性[臓腑弁証 (心・小腸)]	16回	西医的穴性 [足少陽胆経・足厥陰肝経]
7回	東医的穴性[臓腑弁証 (脾・胃)]	17回	西医的穴性 [任脈・督脈]
8回	東医的穴性[臓腑弁証 (肺・大腸)]	18回	西医的穴性 [総括①]
9回	東医的穴性[臓腑弁証 (腎・膀胱)]	19回	西医的穴性 [総括②]
10回	東医的穴性 [総括]	20回	単位認定試験 解答・解説

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 臨床はり学 臨床きゅう学

[授業科目]

あはきの適応の判断病態生理学
も含む**2 学年**

[基本情報]

担当教員	森 大和		単位数	2	時間数	40
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員資格を有する。					
開講学期	---	後 期	授業形態	講 義	---	

[授業目標]

様々な疾患に対し、西洋医学的に判断、鑑別できるようになる。また、病態生理を理解する事で患者に病態を適切に説明出来るだけでなく、あはきの適応範囲を知る事でリスク管理が出来るようになる事が本授業の目標である。

[評価方法]

単位認定試験において 60 点以上を取ることを基本に授業の参加度なども参考に総合評価により単位取得とする。

[教科書]

臨床家のための基礎からわかる病態生理学;毎授業ごとにプリントを配布する。

[参考書]

臨床医学総論、臨床医学各論、よくわかる痛み・鎮痛の基本としくみ

[履修の条件・留意点]

授業時にプリントを配布するため、欠席時は次回授業時に担当講師から受領すること。

授業計画 :回数/講義内容

1回	疼 痛	11回	食欲不振
2回	疼 痛・痛みの治療	12回	高齢者
3回	腰下肢痛	13回	高齢者
4回	腰下肢痛	14回	小 児
5回	頭 痛	15回	婦人科疾患
6回	頭 痛・胸 痛	16回	婦人科疾患
7回	胸 痛	17回	癌と鍼灸
8回	便 秘	18回	肥 満
9回	下 痢	19回	肥 満・糖尿病
10回	浮 腫	20回	単位認定試験 解答・解説

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 臨床はり学 臨床きゅう学

[授業科目]

東洋医学臨床論Ⅰ**2 学年**

[基本情報]

担当教員	長谷川 聡		単位数	4	時間数	80
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員が指導する。					
開講学期	前 期	後 期	授業形態	講 義	---	

[授業目標]

東洋医学概論で学んだ知識を生かし、証候別・ストレスによってどのような状態があるのか理解すると同時に、どのように治療方針を立て、治療を行っていくかを学んでいく。3 年次の臨床実習にむけて、東洋医学的な診断と治療を行えるための基礎になるために、授業時間においては、症例トレーニングなども行うことにより、患者の病態生理と治療が出来るようにすることを目標とする。

[評価方法]

東洋医学臨床論

[教科書]

東洋療法学校協会編「臨床医学各論」、「臨床医学総論」

[参考書]

針灸学基礎篇・臨床篇、経穴篇、中医内科学、他は随時紹介していく。

[履修の条件・留意点]

・教科書に沿ってまとめたプリントを中心に授業を進めるので各自で必ずファイルを用意すること。

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	東医臨基礎	講義
2回	頭痛の病態生理と治療	講義
3回	顔面痛	講義
4回	顔面神経麻痺の病態生理と治療	講義
5回	歯 痛	講義
6回	眼精疲労	講義
7回	鼻閉・鼻汁	講義
8回	脱毛症	講義
9回	めまい	講義
10回	耳鳴の病態生理と治療	講義
11回	咳 嗽	講義
12回	喘 息	講義
13回	胸 痛	講義
14回	腹 痛	講義
15回	悪心・嘔吐	講義
16回	便秘と下痢	講義
17回	便秘と下痢	講義
18回	月経異常	講義
19回	月経異常	講義
20回	前期単位試験/解答・解説	試験/講義
21回	排尿障害	講義
22回	勃起障害	講義
23回	肩 upper 肢疾患	講義
24回	肩 upper 肢疾患	講義
25回	腰 lower 肢疾患	講義
26回	腰 lower 肢疾患	講義
27回	血圧（高血圧・低血圧）の病態生理と治療	講義
28回	食欲不振	講義
29回	肥 満	講義
30回	発 熱	講義
31回	のぼせと冷え	講義
32回	不 眠	講義
33回	疲労と倦怠	講義
34回	発 疹	講義
35回	小 児	講義
36回	スポーツ	講義
37回	スポーツ	講義
38回	老年医学	講義
39回	老年医学	講義
40回	後期単位試験/解答・解説	試験/講義

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 実 習

[授業科目]

東 洋 医 学

はり・きゅう実 技 I

2 学年

[基本情報]

担当教員	原 才サム	単位数	2	時間数	60
実務/資格	豊富な臨床経験鍼を持つ鍼灸院院長が指導、積聚会会長 /はり師きゅう師の教員資格を有する。				
開講学期	前 期	後 期	授業形態	---	実 習

[授業目標]

一年次の基礎実技をベースに、さらに東洋的な考えに基づく鍼灸治療を、腹診・背候診を中心に理解・修得する。

[評価方法]

①実技テスト ②筆記テスト ③出欠席状況 ④授業態度・参加意欲
等による総合評価とする。

[教科書]

はりきゅう実技〈基礎編〉(医道の日本社)

[参考書]

『難経』(各出版社)、『東洋医学講座』第1巻、第10巻(緑書房)
、『カラーアトラス取穴法』(医歯薬出版)

[履修の条件・留意点]

毎回の授業ごとに内容・解説が変わります。
遅刻・欠席があると授業の理解、修得が困難になりがちです。準備・復習と体調管理に注意して、
休まず出席すること。

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	ガイダンス・オリエンテーション	実習
2回	東洋医学原論（東洋医学とは）	実習
3回	脈診（原穴のみ）、腹部接触診（1）	実習
4回	脈診（原穴のみ）、腹部接触診（2）	実習
5回	『難経』55難・52難	実習
6回	『難経』56難・16難	実習
7回	『難経』もしくは 腹診入門	実習
8回	腹部の取穴・五臓区分（1）	実習
9回	腹部の取穴・五臓区分（2）	実習
10回	腹診の方法（1）	実習
11回	腹診の方法（2）	実習
12回	背部俞穴の取穴・五行区分（1）	実習
13回	背部俞穴の取穴・五行区分（2）	実習
14回	背部俞穴の取穴・五行区分（3）	実習
15回	腹診と背部施術（1）	実習
16回	腹診と背部施術（2）	実習
17回	腹部・背部取穴確認ペーパーテスト、腹診と治療	実習
18回	腹診と治療	実習
19回	鍼実技まとめ	試験/実習
20回	灸実技まとめ	試験/実習
21回	実技まとめ講評	実習
22回	腹診と治療（1）	実習
23回	腹診と治療（2）	実習
24回	腹診と治療（3）	実習
25回	腹診と治療（カルテ記入）1	実習
26回	腹診と治療（カルテ記入）2	実習
27回	腹診と治療（補助治療）1	実習
28回	腹診と治療（補助治療）2	実習
29回	腹診と治療（補助治療）3	実習
30回	腹診と治療（補助治療）4	実習

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 実 習

[授業科目]

現 代 医 学

はり・きゅう実 技

2 学年

[基本情報]

担当教員	石丸 圭荘	単位数	2	時間数	90
実務/資格	大学病院での豊富な臨床経験を持つ、医療系大学の教授が指導/はり師きゅう師の資格を有する。				
開講学期	前 期	後 期	授業形態	---	実 習

[授業目標]

東洋医学臨床論の西洋医学的な考え方に基づく鍼灸治療の理論と実際を理解する。特に整形疾患ではペインコントロールをはじめ理学的検査法による鑑別法や鍼灸治療の適否などを判断できる知識と治療技術を習得する。また、同時にストレスフリー療法を応用した治療法について理解する。さらに、経絡経穴に一致する神経痛などの神経症状を理解するとともに神経走行に対する刺鍼点(神経ブロック鍼療法)を習得する。

[評価方法]

後期単位認定試験および実技試験により評価する。

[教科書]

東洋医学臨床論(はりきゅう編)医道の日本社 神経ブロック鍼療法 医歯薬出版

授業計画 :回数/講義内容/形式

1 回	ガイダンス	実習
2 回	現代鍼灸臨床の考え方	実習
3 回	鍼鎮痛理論(低周波鍼通電療法)	実習
4 回	鍼鎮痛理論と実際(脊髄分節性鍼鎮痛)	実習
5 回	鍼鎮痛理論と実際(内因性鍼鎮痛)	実習
6 回	頭 痛	実習
7 回	顔面痛	実習
8 回	顔面神経麻痺	実習
9 回	歯痛・眼精疲労	実習
10 回	鼻閉・鼻汁・脱毛症	実習
11 回	めまい・耳鳴・難聴・咳嗽・喘息	実習
12 回	胸痛・腹痛	実習
13 回	実技試験(1)刺鍼角度	実習

14回	悪心・嘔吐・便秘・下痢	実習
15回	月経異常・排尿障害・インポテンツ	実習
16回	肩凝	実習
17回	頸肩腕痛	実習
18回	肩関節痛	実習
19回	上肢痛	実習
20回	腰下肢痛	実習
21回	膝痛	実習
22回	運動麻痺	実習
23回	高血圧・低血圧	実習
24回	食欲不振・肥満	実習
25回	発熱・のぼせと冷え	実習
26回	不眠・疲労と倦怠	実習
27回	発疹・小児の症状	実習
28回	スポーツ医学における鍼灸療法	実習
29回	老年医学における鍼灸療法	実習
30回	実技試験（2）筋パルス	実習
31回	ストレスフリー療法について	実習
32回	ストレスフリー療法の理論	実習
33回	ストレスフリー療法の基礎実技	実習
34回	ストレスフリー療法の臨床実技	実習
35回	ストレスフリー療法の実践臨床	実習
36回	神経ブロック鍼療法について	実習
37回	経絡経穴と神経痛・神経症状・神経ブロック鍼療法	実習
38回	顔面部の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
39回	頭部の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
40回	頸胸背部の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
41回	上肢の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
42回	腰部の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
43回	腰殿部の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
44回	下肢の経絡経穴と神経刺鍼点	実習
45回	単位認定試験、試験の確認	試験/実習

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 実 習

[授業科目]

はりきゅう応 用 実 技 Ⅱ

— レディース鍼灸 —

2 学年

[基本情報]

担当教員	秋葉 裕子	単位数	2	時間数	40
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員資格を有する。				
開講学期	---	後 期	授業形態	---	実 習

[授業目標]

穴性をもとに、それぞれの疾患に対して処方を考え、深度・角度等を考えながら、処方に合わせて刺入できる技術を学習する。また、灸についても同様に病態に合わせた様々な灸法を学習する。

[評価方法]

出欠席、実技試験にて評価する。

[教科書]

「東洋医学概論」、「経絡経穴概論」、「東洋医学臨床論」

[参考書]

授業中に紹介する。

[履修の条件・留意点]

授業時にプリントを配布するため、欠席の場合は次回授業時に担当講師から受領すること。

授業計画 :回数/講義内容

1回	ガイダンス・中国鍼① [刺入方法]	11回	ライフサイクル鍼灸 [血管運動神経系②]
2回	中国鍼② [得気・催気法]	12回	ライフサイクル鍼灸 [消化器系]
3回	中国鍼③ [補瀉手技]	13回	ライフサイクル鍼灸 [運動器系①]
4回	ライフサイクル鍼灸 [月経①]	14回	ライフサイクル鍼灸 [運動器系②]
5回	ライフサイクル鍼灸 [月経②]	15回	ライフサイクル鍼灸 [泌尿器系]
6回	ライフサイクル鍼灸 [妊娠出産①]	16回	ライフサイクル鍼灸 [生殖器系]
7回	ライフサイクル鍼灸 [妊娠出産②]	17回	ライフサイクル鍼灸 [皮膚分泌系]
8回	ライフサイクル鍼灸 [妊娠出産③]	18回	美容鍼①
9回	ライフサイクル鍼灸 [精神神経系]	19回	美容鍼②
10回	ライフサイクル鍼灸 [血管運動神経系①]	20回	単位認定試験 総評

2021 年度

[分 野] 専 門

/実 習

[授業科目]

鍼灸理学検査法**2 学年**

[基本情報]

担当教員	岡野 亜希子	単位数	1	時間数	30
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師の教員が指導する。				
開講学期	前 期	---	授業形態	---	実 習

[授業目標]

鍼灸治療で行われる基本的な理学検査法(頸・肩・肘・手・腰・膝について)の知識と技術を修得することができる。さらに、各検査法を使って鑑別できる疾患を理解することができる。

[評価方法]

出席状況、試験によって総合的に評価する。

[教科書]

[参考書]

臨床医学各論、臨床医学総論、東洋医学臨床論

随時紹介

[履修の条件・留意点]

授業時にプリントを配布。

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	ガイダンス、理学検査について、血圧について	実習
2回	頸椎の疾患について	実習
3回	頸椎 理学検査	実習
4回	肩関節の疾患について	実習
5回	肩関節 理学検査	実習
6回	肘・手関節の疾患について	実習
7回	肘・手関節 理学検査	実習
8回	頸椎～肘・手関節の復習	実習
9回	腰の疾患について	実習
10回	腰 理学検査	実習
11回	膝の疾患について	実習
12回	膝の理学検査	実習
13回	総復習	実習
14回	鑑別について	実習
15回	単位試験/総評	試験/講義

2021 年度

[分 野] 専 門

/実 習

[授業科目]

鍼 灸 診 察 法**2 学 年**

[基本情報]

担当教員	前川 秀朗		単位数	1	時間数	30
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員資格を有する。					
開講学期	---	後 期	授業形態	---	実 習	

[授業目標]

医療面接における基本的な技法と診療録の書き方を学び、鍼灸臨床において役立つ技術と知識を修得することを目標とする。

[評価方法]

実技試験において 60 点以上を取ることを基本とし、授業の参加度も含めて評価し単位を認定する。

[教科書]

[参考書]

プリント資料

随時紹介

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	医療面接概要	実習
2回	医療面接実習 1	実習
3回	医療面接実習 2	実習
4回	医療面接実習 3	実習
5回	医療面接実習 4	実習
6回	医療面接実習 5	実習
7回	医療面接実習 6	実習
8回	医療面接実習 7	実習
9回	医療面接実習 8	実習
10回	医療面接実習 9	実習
11回	医療面接実習 10	実習
12回	医療面接実習 11	実習
13回	医療面接実習 12	実習
14回	医療面接実習 13	実習
15回	単位試験/総評	試験/講義

2021 年度

[分 野] 専 門

/実 習

[授業科目]

ス ポ ー ツ 鍼 灸

2 学 年

[基本情報]

担当教員	前川 秀朗	単位数	1	時間数	40
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師の教員資格を有する。				
開講学期	前 期	---	授業形態	---	実 習

[授業目標]

様々な鍼灸治療法のうち比較的短時間で体の変化があらわれ、その変化を施術者、患者とも確認することができ、他の治療法とも併用できる治療法を学び、鍼灸臨床において役立つ技術と知識を修得することを目指す。

[評価方法]

実技試験において 60 点以上を取ることを基本とし、授業の参加度も含めて評価し単位を認定する。

[教科書]

[参考書]

プリント資料

随時紹介

授業計画 :回数/講義内容

1回	治療法総論	11回	兎径部診断による治療法
2回	東洋医学による身体の評価	12回	背部への治療法
3回	東洋医学による診断方法	13回	側腹部診断による治療法
4回	現代医学による身体の評価	14回	腹部診断による治療法
5回	現代医学的による診断方法	15回	肩部診断による治療法
6回	上腹部診断による治療法	16回	肩甲骨周囲筋の治療法
7回	頸部診断による治療法	17回	下腿の治療法
8回	胸部診断による治療法	18回	ケガ（瘢痕組織）の治療法
9回	季肋部診断による治療法	19回	頭部の治療法
10回	後頸部診断による治療法	20回	単位認定試験 解答・解説

2021 年度

[分 野] 専 門

/ 臨床実習

[授業科目]

臨床実習Ⅱ

2 学年

[基本情報]

実習調整者	松澤 孝司 前川 秀朗		単位数	1	時間数	45
開講学期	前 期	後 期	授業形態	---	実 習	

[授業目標]

- ・形態の違う実際の治療院で実習を通じて、自身が考える治療院について考えることができる。
- ・授業で学習していることが、実際にどのように効率よく用いられているかを体感することで、今後の授業への取り組み方に結び付けることができる。

[評価方法]

実習への取り組み状況によって総合的に評価する。

[履修の条件・留意点]

- ・各施術所の臨床実習指導者の指示に従うこと。
- ・日程の詳細はその都度施術所と相談して決める。通常時間外となるので注意すること。
- ・各期間における施術所はできるだけ違う所とする。

授業計画 : 回数/講義内容/形式

1回	附属鍼灸院実習	4月-5月 (4.5時間)
2回	第1期 外部施術所/治療院 臨床実習	6月 (4.5時間)
3回		
4回		
5回	第2期 外部施術所/治療院 臨床実習	8月 (4.5時間)
6回		
7回		
8回	第3期 外部施術所/治療院 臨床実習	11-12月 (4.5時間)
9回		
10回		